

2011年7月14日

## 東急ハンズ、電力使用量 15%削減の一環で 旗艦店の新宿店売場照明に LED を導入

株式会社東急ハンズ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:榊 真二)は、これまでも各店舗や本社オフィスなどで節電に取り組んで参りましたが、今夏の電力使用量 15%削減を実現するため、店舗・事務所照明の一部消灯、店舗外壁ネオンの消灯、館内空調の温度設定見直しなど、さらなる節電対策を実施しております。

全社で節電対策を強化する中、将来的な消費電力・CO2 排出量削減による環境への配慮の観点から、旧型の蛍光灯器具を使用していた東急ハンズ新宿店の 3 階から 7 階までの 5 フロアの売場照明について、東芝ライテック(株)製の直管形 LED ベースライトを導入する事といたしました。バックヤード(倉庫・事務所)については、蛍光灯安定器を高効率高出力インバータタイプへ交換し併せて反射板を設置、省エネ化を進めます。

※ 2 階、8 階売場(含 8 階バックヤード)については 2006 年に蛍光灯安定器を高効率高出力タイプへ交換し反射板を設置しているため、今回交換の対象とはいたしません。

売場へ導入する直管形 LED ベースライトは、同等の照度の蛍光管と比べ消費電力は約 44%の削減、寿命は約 3.3 倍に伸び大幅なコスト削減となります。また、ランプには割れにくいポリカーボネート樹脂が使われており、従来のガラス製蛍光管のように割れた際の飛散のおそれがなく、お客様の安全面にも配慮した製品です。

今後東急ハンズは、各店舗において同様の見直しを進め、環境に配慮した店舗づくりを進めてまいります。



工事の様子



東芝直管形 LED ベースライト

## 【主な改修概要】

### (1) 基本照明の交換（FLR40W 形 2 灯器具より交換）

- ・東芝直管形 LED ベースライト（40W 形 2 灯器具・3～7 階売場） 1,024 台
- ・高効率高出力インバータ安定器（Hf32W形 1 灯器具）+ 高性能反射板 488 台  
（2 階～7 階バックヤード）

### (2) 工事について

- ・7 月中旬より工事開始。店舗閉店後の夜間工事により 7 月末を目処に施工完了予定。

### (3) 削減効果

- ・電力使用量、電気料金、CO2 排出量：年間約 44%削減
- ※CO2 排出量年間約 97t 削減 = ブナの木で約 8,800 本分の年間吸収量に匹敵  
（LED ベースライトへの交換分=64t、インバータ安定器への交換分=33t）
- ・管球交換コストの削減：現行 FLR タイプより 3.3 倍の長寿命（直管形 LED 管）
- ※【管球寿命比較】直管形 LED 管=約 40,000 時間 FLR 蛍光管=約 12,000 時間

本件に関するお問い合わせ先：

株式会社東急ハンズ 経営企画部 ブランディング課（担当：國分、大嶋）

TEL: 03-3780-5172/E-mail: press@tokyu-hands.co.jp